

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝石箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん、やよいちゃん

1 圓滿寺の釈迦十六善神像

今日は圓滿寺の釈迦十六善神像を紹介します。

【クイズ】

釈迦十八善神像には有名な人物も必ず描かれます。それはだれでしょう。

- ① 聖徳太子
- ② 三蔵法師
- ③ 聖武天皇



▲600年以上も大切にされてきた十六善神像



圓滿寺の釈迦十八善神像の絵は、上下二二五・五センチ、幅七〇センチの絹布に描かれ、今はしっかりとした表装がなされています。この絵の裏には、由来が記録されています。具体的には、一三九五年に「今里 岩光 一子」のご本尊として奉られるようになったとあります。「一子」は今も同じですが、「今里」は「古宮」に、「岩光」は「野添」にその後なっています。このことから、今の播磨町東半分をお守りする、大切な仏様として、当時、用意されたことがわかります。

絵柄は中央上にお釈迦様と脇侍。さらにその下の左右に八体ずつ、計十六体の善神像が描かれています。そして、右下に三蔵法師が、経典を入れた大きな箱「笈」を背負った姿で描かれています。これは、七世紀の唐のとき、経典をインドから中国へ運んできた「三蔵法師」の遺徳をたたえる気持ちを表しています。

なお、この絵をよく見ると、細い金の線がふちどりに使われています。今でも輝いて、高貴な気品が漂っていますが、当時はかなりきらびやかな仕上げりの絵であったと考えられます。さらによく見ると、まゆなど精巧な筆づかいで落ち着いた線なので、優れた絵師にお願いしたものと考えられます。お金を出した当時のこの地域の財力がしのばれます。

このようなことから、この絵は中世の播磨町を語る貴重な文化財といえます。なお、この仏様の拝観にあたっては、予約が必要です。

(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ②三蔵法師

町の人口 3月1日現在

(住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,283人(+31人) 男…16,842人(+19人) 世帯数…13,415(+33)
女…17,441人(+12人)

